

緑地が保有する環境保全機能の評価

緑環境景観マネジメント研究科 山本 聡



キーワード

景観保全、環境保全、視線解析、ストレス緩和

研究概要

◆植物や植栽空間等に対する人間の反応行動を捉えることから緑地の保全・創出に関わる環境保全効果を明らかにする研究をおこなっています。

身近な景観をとらえ、地域での認識の把握状況等を通じて、景観資源や地域らしさを抽出する手法の高度化を目指しています。また、緑地景観を見た際の人間のストレス緩和効果の計測(視線解析やアンケート、生理活性計測等の手法の連携による評価)をおこなっています。

◆都市公園等の活用に関する研究をおこなっています。

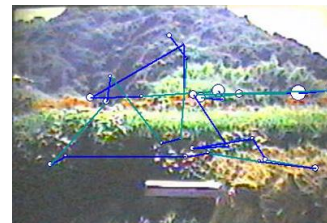
都市公園の利用調査等を通じた、利用計画や施設整備計画等の提案につながることを目指しています。

アピールポイント

地域の景観を、単なる景観としてではなく人の反応との関連を踏まえて捉えることにより、人への影響把握や保全手法の高度化検討など幅広く活用できるようになることを目指しています。

応用分野

植物資源管理、公園管理、地域おこし、観光など



視線解析による景観認識の把握